



ファンタジー作品の世界観を  
深く知りたい人

必携の一冊!!

## バイアティス

Byatis

- 「妖獣の秘密」
- イグ
- セヴァンフォード
- 「ネクロミコン」



パークリーの蟾蛙

蛇神とその眷属に詳しい「妖獣の秘密」には、イグの子供ともいわれるバイアティス、暗きハンの名前が、イグと共にたびたび現れる。また、「ネクロミコン」には、「深きものども」が地球にやってきた時、作ましいものを地球に映出すべくバイアティスの偶像を持ち込んだことが書かれている。同書によれば、様々な色を変える甲冑と、蛇のように長く触手を伸ばした顔をもつ、蟾蛙のような体に乗せたバイアティスは、最初はヴァルーンシア人、その後はムー大陸の住民に崇拝されたというのである。

神祕家たちの間では、これらの大陸や国々が滅びた後、バイアティスはアフリカ島南西部のグロスターシャーに潜んでいると囁かれている。同地には、ヘンリー7世（在位1485～1509年）の御世、パークリー城の崩れから巨大な怪物が現れたという民間伝承が伝わっていて、様々な古物に隠れている。そして、この蟾蛙と同一のものらしい怪物が、どうやらセヴァンフォード近くの古城に居住する黒魔術師ギルバート・モリー卿に捕らわれて、18世紀に近隣を騒がせたという記録が、大英博物館に所蔵される当時の牧師（英国国教会における司教以下の聖職者の呼称）の回想録などに隠れている。その外見的特徴がバイアティスと一致しているのである。なお、同地の歴史家ダニエル・ジェナーは、この怪物はローマ人がアフリカに到達する途か舟に建てられた、起源のわからない遺物の石造りの扉の中に潜んでいたもので、ローマ兵によって解放されたのだと主張していることである。

### 「忘却の神」バイアティス

バイアティスは、蛇神イグやハンと同様、蛇と関わりがある邪神です。初出はブロックの『星から訪れたもの』で、蛇神とその眷属についての記述を数多く含む『妖獣の秘密』の呪文や新編文、その名前が現れると書かれています。

長らく名前のみ存在だったバイアティスですが、ラムジー・キャンベルがこれを題材とする『城の部類』を著し、この神に実体を与えました。この作品に引用される『妖獣の秘密』の記述によれば、「忘却の神」バイアティスは邪神たちと共に異国からやってきて、「深きものども」が地球に待参した偶像に祈りを捧げるか、あるいはこの偶像に触れることで召喚されます。バイアティスは様々な色を変える甲冑を備え、蛇のように長く触手を無数に生やした顔をもつ、蟾蛙のような体に乗せていて、口吻をひっこめると器にそっくりだと説明されています。その目を見た者は精神を掌握されて、すなわすべもなく喰らわれてしまい、面食を得たバイアティスは際限なく大きくなるのです。「城の部類」に登場するバイアティスは、その絶頂の1本だけで巨大な怪物と評されるほどでした。

「城の部類」によれば、大英博物館にあるヒル「セヴァン・ヴァレーの伝説とならわし」、サンクスター「モンマスマシャー、グロスターシャー、パークレー周辺の 魔術」に関する「覚書」などの同地にまつわる歴史書でも、18世紀の事件について触れられているようです。バイアティスはその後、セヴァンフォードの近くに廃墟が現存するモリー卿の城の近く、見つかりにくい地下施設の中に、1960年代の初頭あたりまでその巨体を潜ませていました。ただし、同作においてバイアティスが甚大なダメージを受け、いったん肉体を失ったものの、地下施設の外に抜け出したような描写があります。

なお、パークリーの蟾蛙は、同地（実在の町）に実際に伝わっている民間伝承です。グロスターシャーの地誌などによれば、ヘンリー7世の御世、幅が約40センチメートルほどの大きな骨盤がパークリーの井戸に見つかったという話で、女性二人の頭上にヒキガエルがうごまかっている彫刻がパークリー城に現存しています。また、現地の聖マリア教会にも同様の像があり、口がいない者に対する戒めだと伝わっているということです。

### リン・カーターの追加設定

カーターはバイアティスについて多少の矛盾を含む次の設定を追加しました。

作品名	内容
「陳列室の恐怖」	バイアティス、イグ、ハンとワボ・ササラの黒と子。
「陳列室の恐怖」	ヴァルーンシア人（蛇人間？）、ムー大陸の住人に崇拝された。
「最も恐まわしきもの」	イグ、ハンと共にヒュルボロシオの蛇人間から崇拝された。
「ネクロミコン」	バイアティスはイグの息子に当たる。

「陳列室の恐怖」よりもカーター版「ネクロミコン」の方が後に書かれたものなので、親子関係については後者の記述を優先するのが良いでしょう。

New Encyclopedia of  
Cthulhu Mythological Materials

# クトゥルー神話 解体新書

森瀬 繹・著

クトゥルー神話を知るための  
マテリアル・ブック

137

暗黒の神話大系、

クトゥルー神話の

背景要素を解体する!

項目  
の

邪神・怪物・禁書解説+年代記+年表

# クトゥルー神話の

第一人者 森瀬 繹

による2020年代

最新の解説書!!

定価 2500 円（本体 2,273 円+税）

株式会社 コアマガジン